

持続的な成長を実現するための価値創造ストーリー
マテリアリティ

UBEグループの
マテリアリティ

(重要課題)

UBEグループの取り組み

貢献するSDGs項目

	<p>成長</p> <p>積極拡大事業^(注)を中心とした化学事業の成長</p>	<p>積極拡大事業を成長させ、事業全体における比率を高めるよう事業構造改革に取り組むことで、景気の動向に左右されず、安定的に成長できる体制の構築と利益率の向上を目指します。また、積極拡大事業は化学のスペシャリティ事業のようにGHG排出量の少ない事業が多いため、その比率が高まることによりGHG排出量原単位の引き下げ効果も期待できます。</p> <p>(注) ナイロン、ファインケミカル、高機能コーティング、合成ゴム、ポリミド、分離膜、セパレータ、マグネシア・カルシア、バイオマス燃料、資源リサイクル</p> <p>詳細はP16-17、20-21、28-29、34-37をご覧ください。</p>	
	<p>環境</p> <p>地球環境問題への挑戦</p>	<p>地球環境問題については、地球温暖化対応、海洋プラスチックごみ問題、生物多様性保全および水資源の保全と捉えており、なかでも特に取り組みを強化しているのは、地球温暖化への対応です。自社工場からのGHG排出量削減だけではなく、サプライチェーン全体におけるGHG排出量削減への継続的な取り組みにより、脱炭素社会の実現に貢献します。</p> <p>詳細はP15-17、21、28-31、42-45、62-63をご覧ください。</p>	
	<p>社会</p> <p>成長と革新を担う人材の採用と育成</p>	<p>UBEグループの中長期的な成長の原動力は、「人材」です。女性や外国人の活躍を推進し、また、さまざまな社員教育などを通じて、多様な価値観を認め合いながら、幅広い視野を持った人材を育成することで、事業環境の変化に迅速に対応し、持続的な成長につなげていきます。</p> <p>詳細はP53-56をご覧ください。</p>	
	<p>ガバナンス</p> <p>経営基盤の強化</p>	<p>攻めと守りのガバナンスを強化するために、経営理念と経営方針の刷新、監査等委員会設置会社への移行、化学部門の再編などを実施しました。これらの成果を追求していくことで、さらなる成長を支える経営基盤の強化に持続的に取り組みます。</p> <p>詳細はP42-51をご覧ください。</p>	

地球環境問題などのUBEグループが抱える諸リスク、社会の持続的な発展に向けたグローバルなコンセンサス、環境負荷低減に貢献するUBEグループの技術力などを総合的に勘案し、UBEグループの持続的な成長に重要な影響を与えるマテリアリティ(重要課題)を特定し、重点的に取り組んでいます。

参考にしたコンセンサス

- SDGs
- 国連グローバル・コンパクト
- サステナビリティ会計基準(SASB)
- 世界人権宣言
- ビジネスと人権に関する指導原則
- ISO26000
- GRI

マテリアリティの特定

UBEグループのマテリアリティは成長・環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)の4項目です。マテリアリティの特定に際しては、より良い社会づくりに資することを目的に、下記の2つの評価軸を採用し、最終的に取締役会へ報告しています。

マテリアリティの特定

